

テーマ

「つながり」を科学する

適用
分野

戦略的提携、垂直的・
水平的統合



研究
名称

戦略的ネットワーク形成の分析

氏名
所属

三上和彦 教授
経営学部 経営学科

内容

●特徴

良い「つながり」と悪い「つながり」を理解し、いかに良いつながりを形成していくか、また社会的に望ましい「つながり」と個人にとって望ましい「つながり」の違いを理解する。

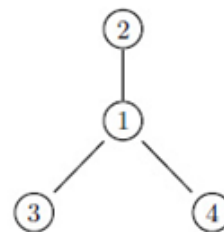
●研究内容

個人であれ、企業であれ、国家であれ、社会の中ではそれぞれ個別の単位で存在しているのではなく、何らかの関係、すなわち「つながり」を持っている。例えば、個人の友人関係において、友達の友達には面識がなくとも、直接の友達を通じて彼（女）から影響を受けていると考えられる。企業間においても戦略的に提携を形成することで、このようなつながり（ネットワーク）を見出すことができる。

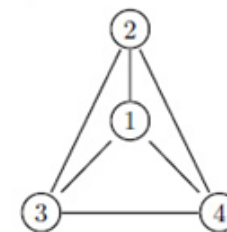
1990年代後半より、このようなネットワークがいかに形成されるべきか、そしていかに形成されるかという分析が経営学、経済学、社会学、統計力学、生物学等多方面で進められている。この2つのテーマの違いを理解することは重要であり、望ましいネットワークが常に形成されるとは限らないことに注意

しなければならない。この研究ではゲーム理論を用いて、ネットワークに潜む競争と協調の両側面を分析する。特に、ネットワーク形成の議論においては協調によるメリットのみが強調される傾向にあり、ネットワークを構成する個人（あるいは企業）のインセンティブが考慮されず、結果としてネットワークが崩壊してしまうことがある。本研究においては実行可能な望ましいネットワークとは何かを理論的に分析する。

スター型ネットワーク



完全ネットワーク



キーワード

ネットワーク、ゲーム理論、競争と協調

連携方法

■ 講演 □ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 ■ コメント ■ 共同研究